

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価報告書

(平成29年度対象)

平成30年9月

芝山町教育委員会

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正が行われ、新たに教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、毎年、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされ、実施することとされた。(第26条第1項)

また、上記の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされている。(同条第2項)

(平成20年4月1日施行)

点検・評価の具体的な項目や指標、議会への報告や公表の方法については、特に国が基準を定めることは行わず、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとされている。

「評価」欄の記載内容

評価の区分	評価の内容
◎ (達成)	優れた取り組みや状況等が見られ、課題はほとんどなく、順調に目標が達成された。
○ (概ね達成)	良い取り組みや状況等が見られ、若干の課題はあるが、概ね順調に目標が達成された。
△ (課題がある)	課題が少なからずあり、目標達成がやや順調でない、又は、一定の成果はあったが新たな課題が生じた。
× (達成が困難)	課題が多く、まだ改善に向けた取り組みに着手できていないか、着手してもほとんど成果が上がらないなど目標がほとんど達成できなかった。

平成30年度 芝山町教委事務の点検・評価について

芝山町教育委員会では、急激に変化する時代を担う子供たちに豊かな人間性を培うと共に、人生80年時代における生きがいの実感と時代の変化への対応、さらには自分にふさわしい生き方を探るなど、町民のニーズに応えた学習環境づくりを進めています。更によりよい教育施策を探るために点検評価を行います。

〈 評価の流れ 〉

教育委員会内評価	教育長、教育課長、学校教育担当課長、学校教育係長、社会教育係長で事業の評価を行う。
教育委員評価	教育委員に各係の事業の内容・自己評価を説明し意見と評価をいただく。
評価の了承	各教育委員の評価をまとめ、定例教育委員会において、内容の確認を行う。
学識経験者の知見の活用	学識経験者に意見を伺う。
教育委員会議議決	学識経験者の意見の説明と議会への提出や町民への公表に向け、内容の確認を行う。

I 生涯学習の充実

1 生涯学習機会の充実

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた学習機会を提供することができるよう各種学級・講座の充実を図ります。 ・文化活動や健康づくり、福祉、環境問題など多様な学習ニーズに対応した学習機会の提供に努めます。 ・親子体験活動、小・中学生を対象とした集団活動の事業展開により、生きる力の基礎づくりを推進します。 ・地域の自然や歴史などを発掘、再認識し、地域を知る学習活動としてふるさとづくり運動を推進します。 ・地域活動やボランティア活動などを通して、学習の成果をまちづくりに活かしてもらいしくみづくりに努めます。 	担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>各種学級・講座の充実に向け、講師の人選並びに登用は、適材適所であり、学級・講座を運営している事は評価したい。ただし、講座の運営企画の中心が公民館事業に軸をおいていることに今後の課題がみえる。</p> <p>親子や小・中学生を対象とした事業展開は各団体・委員会で進められていることは評価したい。異年齢交流などのイベントを企画運営し、さらに体験活動に重点をおいた取組に期待したい。</p> <p>文化活動やスポーツ活動など各種団体のリーダーを中心に自主的な運営が見られてきてはいるが、行政支援をさらに離れ、自主的活動が自らの力で進めるよう支援する必要がある。</p>	
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育が生涯学習のスタートであるので、親子参加の体験交流活動は大変重要であり、人間形成にも必要であり、今後の取組に期待したい。 ・教育の原点は、やはり家庭であることから、親子で体験する事業は大変有意義であると思う。多種多様な講座が提供されているが、これがマンネリ化しないよう受講者のニーズに応じたメニューを充実させ、生涯学習の喜びを共有できるように事業の推進を図られたい。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・各種学級への男性の参加が少ない。どこの町でも同様の傾向にあるようだが、残念である。 ・対象者が子どもから高齢者にいたるため、事業内容も幅広く大変だと思うが、各種団体のリーダーを中心に、時代のニーズに応じ、かつ持続可能な事業運営に努力していただきたい。
--	---

2 生涯学習設備の整備

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の拠点施設としてもつべき機能を検討しその結果に沿って生涯学習の推進を図ります。 ・地域における社会教育を推進するため、公民館の施設・設備の充実に努めるとともに、運営体制の充実に努めます。 	担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	文化センターの改修等、現在ある施設の整備拡充、有効活用等に努めている事は評価したい。吹奏楽コンクールのリハーサル会場として有名校の招致に成功していることは意義がある。 町民のニーズに対応し、学校施設開放や公民館事業の各種教室を開催している事は評価したい。 生涯学習社会の進展に伴い、多様化する学習需要に応えるべく、機能的な改修を検討していく必要がある。	
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の変化に伴い、町民のニーズも多様化するので、施設の整備や改修にも早めに目を向けていくことが望ましい。 ・会員で整備している施設もあり、大変良いことと評価したい。 ・公民館や文化センターの設備の充実や改修に努め、有効活用していることは評価できる。今後は他の施設にも目を向け、施設の整備を検討して開放していくことが望ましい。 	

3 生涯学習推進体制の整備

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・芝山町生涯学習推進のあり方を検討し、推進体制の整備を図ります。 ・広報による生涯学習情報など、町民に対する幅広い学習情報の提供と相談体制を整備し、町民のニーズに合った事業の展開に努めます。 ・生涯学習の推進に向け、各種事業のより効果的な方策の実践を検討していくなど、PDCAマネジメントサイクルの活用を図ります。 ・生涯学習活動を支援するリーダーの育成と人材確保を図ります。 	担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	各種団体の中には、リーダーを中心に、組織運営ができており、自主的活動をしていることは評価したい。 各種学級・講座におけるリーダー育成・人材の発掘、確保がどの団体とも必要があり、急務である。各種学級・講座によっては、町内のみならず近隣市町との連携・協力を推進していくことが大切であると考えます。	
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の活動を今後も進展させて行くためには、少子化が続くことが予想されている中、人材の育成は急務である。 ・生涯学習の団体の中には、他市町、他県との交流が盛んに行われている団体があって、大変喜ばしいと思う。しかし、次なるリーダーが育っていない団体が多いようである。各種団体は、現状維持だけでなく、長く交流が続くように心がけてほしい。 ・豊かな自然や空港など、町の特色を生かしながら生涯学習を進展させてほしい。そのためにもまずは町内の各種団体が連携し、協力体制を強化すべきである。各種団体の体制作りの支援や人材の育成にも努める必要がある。 	

II 家庭教育、青少年の健全育成

1 家庭教育の充実

<p>取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校における家庭教育学級の実施により、親の学習機会の充実を図ります。 ・情報提供や相談体制の整備を進める他、父親が家庭教育へ参加しやすい環境整備に努めます。 ・親子で体験活動ができる「若竹塾」の充実を図り、良好な親子関係づくりの一助とします。 	<p>担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している</p>
<p>委員会の評価 (課題問題点など)</p>	<p>若竹塾では、アンケートを基に内容を吟味し、親子が参加できる体験活動を年間10回開催している事は評価できる。</p> <p>「食育」等の学習機会を与え情報提供した事は評価したい。</p> <p>家庭教育学級への参加者をさらに多くするためにも、有効な広報活動が必要であると考えます。</p> <p>子育てについて、不安や悩みをもつ親が増加しつつあり、家庭教育力の向上を図るためにも、子育てに必要な情報提供を目的とした新規事業を立ち上げてほしい。</p>	
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の状態を継続し、更なる充実を期待したい。 ・親子で参加できる若竹塾は、親子の関係作りの一つ的手段として評価できる。今後の更なる充実を期待したい。 	

2 青少年の健全育成

<p>取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会や青年団体の育成を図り、地域における青少年活動の活発化を促進します。 ・体験学習やボランティア活動など、青少年の地域参加を図る学習機会の提供に努めるとともに、文化イベントや幅広い交流活動を促進します。 ・郡ジュニアリーダー研修会や町サマーキャンプへの参加などを通じて、青少年リーダーの養成・確保に努めます。 ・青少年の健全育成に向けて、環境の浄化運動を地域ぐるみで推進します。 	<p>担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している</p>
<p>委員会の評価 (課題問題点など)</p>	<p>子ども会や青少年相談員による様々な体験活動の提供は、子どもたちが地域住民や異世代との交流を深め、コミュニケーション能力や社会性を育むことができる大切な場所となっているので今後更なる進展を望む。</p> <p>児童数の減少や休日の過ごし方の多様化等により、各事業の参加者が減ってきている。内容や開催日、効果的な広報について再考を必要とし、学社融合をめざしてもらいたい。</p>	
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体が実施している事業により、子どもたちが幅広い交流を深めていることは、大変良いことだと思う。 ・子どもたちの目を外に向け、目的をもたせることは、大変良いことだと思う。 ・青少年の教育のために各団体が活動しており、評価されるものである。 ・年々、児童生徒数が減っていく中で、積極的に各事業を実施したことは評価したい。今後少子化が進み、同じ事業の継続が難しい場合は、一步踏み込んだ工夫をしながら取り組んでほしい。 ・青少年は町の将来の担い手であるので、この町の良さを再認識できるような郷土の歴史や伝統に触れられるような行事を計画してほしい。また、各種団体が連携した取組が必要と考える。 	

Ⅲ 学校教育の充実

1 学校教育の総合的推進

<p>取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び心豊かで芝山町を愛する児童・生徒の育成をめざします。 ・教育課程編成の工夫や学習指導要領への対応を図ると共に、特別支援教育を推進します。 ・小中学校が児童生徒の健やかな成長のために、関係機関との教育連携に努めます。 	<p>担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している</p>
<p>委員会の評価 (課題問題点など)</p>	<p>一人一人を大切にしたきめ細かな指導で、自ら学ぶ力を育み、確かな学力を身につけようと努力している。今年度より新学習指導要領の移行期を迎え、改めて「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有し、授業の創意工夫や教科書等の教材の改善を引き出していけるよう、①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等の三つの柱で再整理する必要がある。</p> <p>小中学校共に地域の教育力を生かした特色ある教育活動を実践すると共に、地域の伝統や歴史にふれる体験的な活動にも取り組んでいる。また、特別な支援を必要とする児童、生徒の増加に対応するための教職員の研修の充実及び特別支援教育コーディネーターの複数指名、学習支援員・介助員の増置等、現状に適合した条件整備が進んでいる。</p> <p>町教委、保育所、幼稚園、保健センター、民生児童委員など、関係機関・団体が学校教育を支援しているが、課題を明らかにして連携していく必要がある。</p>	
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童生徒の増加に伴い、町の規模としては大変充実した職員配置であることは、高く評価したい。 ・特別支援教育コーディネーターの複数指名、学習支援員・介助員の増置等、芝山町の規模としては、かなり充実した職員配置である。 ・小中学校が各1校であることから、幼保小中の情報交換を密にするなど、連携の強化を期待する。 ・少子化への対応として、子どもの誕生から、町・学校・地域・家庭の連携を強化して取り組むことが重要である。 ・小中一貫教育も視野に入れ、芝山町が一丸となってよりよい教育がなされるよう希望する。 ・学習指導要領の変更に伴う学習教材の増加について、児童へどのような影響があるか注視していく必要がある。 	

2 学力向上のための指導方法の工夫・改善

<p>取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導目標の明確化や、目標に応じた授業構成・展開などの工夫・改善を図ります。 ・授業研究を積極的に行い、小学校では授業交流を図り、一部教科担任を取り入れるなど、授業体制や指導方法の工夫・改善を図ります。 ・少人数指導やティームティーチングなど、個に応じたきめ細かな指導を推進します。 ・補足的な学習や発展的学習を取り入れるなど、個に応じた学習内容を工夫し、学力の向上を図ります。 	<p>担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している</p>
<p>委員会の評価 (課題問題点など)</p>	<p>小学校では、きめ細かな指導や特別支援教育の推進により、個に応じた学習指導を展開している。中学校では平成27年度に行った「全国学力学習状況調査検証事業・学力向上交流会」の成果を継続し、学力向上のために各教科で着実な学習指導が進んでいる。また、学習形態の工夫や外部人材を活用した体験的・発展的な学習、定期テスト前には朝や放課後を活用した学習活</p>	

	<p>動を行ったり、長期休業中における学習支援活動を行ったりして成果を上げている。</p> <p>更なる学力向上のために、全国学力・学習状況調査及び千葉県標準学力検査を分析し、課題と対策を全職員で共通理解して日々の授業の充実に努めてほしい。</p> <p>また、積極的な学習状況の発信や家庭学習の啓発など、家庭との連携が必要である。</p> <p>教育事務所計画訪問や要請訪問、教育委員会訪問などは、授業研究のよい機会ととらえ、計画的に研修に取り組む必要がある。また、若手教職員等の育成のため、研修時間等を確保し、組織的な研修体制を築くことが今後の学校業務の改善と学力向上につながると考える。</p>
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校における少人数指導・ティームティーチングなど、きめ細かな指導は大変良いことと評価したい。 ・小中学校共に教職員の専門性や指導力を高め、指導方法の工夫と改善を図っていることは評価できる。更なる学力向上のために、家庭における学習習慣や生活習慣の改善のために、家庭との連携を積極的に行ってほしい。また、その中でも、児童生徒一人一人を見つめ、優れた特性の伸張につなげてほしい。

3 個性や能力を伸ばす教育の推進

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語教育の充実や国際交流機会の拡充など国際理解教育を推進し、国際化に対応した教育の充実を図ります。 ・高度情報化社会の進展に対応した情報教育の充実のため、ICT利活用教育の推進と、校務用パソコン及びパソコン教室の機能更新を行います。 ・障害のある児童・生徒一人一人の教育的ニーズに応じ、保護者の理解のもと、適切な特別支援教育を行います。 ・学校図書館の充実整備を図り、学校における読書活動の推進に努めます。 	担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>小中学校それぞれにALTを1名配置し、英語教育を推進していることは評価できる。小学校にALTが常勤しているのは山武地区では芝山小だけであるので、教職員の英語指導力の向上や外国語活動以外でも、ALTを活用し専門性を生かした取組を工夫してほしい。</p> <p>ICT機器等を活用した授業に取り組む教職員が増えてきた。校内無線LANの配備やタブレット端末の導入の要望もあるが、教職員の指導力の現状と近隣市町の情勢なども参考にして検討を進めたい。</p> <p>特別支援教育アドバイザーの学校訪問や保護者との面談を進め、就学支援が充実している。今後は、教育支援委員会を機能させると共に、交流学习や共同学習への積極的な取組が必要である。</p> <p>読書活動の時間確保や読み聞かせボランティアとの連携など、充実した取組が多い。図書購入費の増額による新刊図書を充実させるとともに、学校経営の中での図書館経営の充実を望む。</p>	
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・読書習慣を身に着けることは、低学年からが最適であり、将来必ず役立つものであり、読書活動の推進は、高く評価できる。今後も継続を期待したい。 ・低学年での読書習慣は大人になっても生きる。子どもたちがゲーム中心となってきた中、読書活動に力を入れていることは非常に評価できるものであり、今後も継続を望む。また、スマホへの関心を少しでも本に向けてほしい。 ・ICT化により校務処理や教育活動の効率を向上させることは、時代の流れであり、これからの一層の推進を図りたい。 	

4 豊かな心をはぐくむ教育の推進

<p>取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育、道徳教育などにより心の教育を推進します。 ・情操教育の推進に努めます。 ・キャリア教育の推進や積極的な体験活動に取り組みます。 ・子どもに寄りそう生徒指導の充実をめざします。 	<p>担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している</p>
<p>委員会の評価 (課題問題点など)</p>	<p>道徳教育の重要性を認識し道徳授業の充実と道徳的実践力の向上に努めていることは評価できる。平成30年度は道徳の教科化(中学校は31年度)の初年度となるので、これを機に、改めて自分の生き方を考え主体的に判断し行動できる児童生徒の育成を目指してほしい。</p> <p>町全体の取組としては、小中合同の音楽祭や町教委主催の芸術鑑賞教室など、情操教育が推進されている。</p> <p>小学校では県立水郷小見川自然の家による宿泊体験や地域の方々の協力による勤労生産的活動、成田国際空港英会話体験、中学校では奄美大島での自然体験学習などが実施されている。また、町の一大イベントであるはにわ祭への参加など、豊かな心や愛郷心をはぐくむ教育活動が展開されている。</p> <p>小中学校に配置されたスクールカウンセラーを保護者にも活用を拡大し、成果を上げている。また、校内委員会や生徒指導委員会にも積極的に参加し、学校の組織力向上につながっている。</p>	
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳感が希薄と言われる現状において、様々な体験や交流は、人間形成の上でも大変重要である。 ・豊かな心を育てるといふ部分は、体験から得られるものが非常に大きい。町民の参加や物的資源を積極的に活用し、豊かな体験を得られるように今後も取り組んでもらいたい。 ・町内の特技を持つ人材をアンケート調査等で把握し、人材登録を呼びかけるなど、広く町民に関わってもらえるとよい。 	

5 食育に関する指導の充実

<p>取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝早起きを奨励し、栄養バランスを考慮した正しい食習慣を身につけます。 ・安全で安心な地元の農水産物を食生活に取り入れる事で、「食」を通して郷土愛を育てます。 ・教職員への食物アレルギーの指導に努めます。 	<p>担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している</p>
<p>委員会の評価 (課題問題点など)</p>	<p>食に関する指導全体計画を見直し、学校給食を食育として活用している。特に、親子給食、地産地消などの取組は評価できる。また、芝山産コシヒカリを使用した米飯給食における食育指導は、郷土愛を育むことにつながっている。</p> <p>学校栄養職員を中心に学級指導・家庭教育等を活用して、食育を積極的に実施できたことは評価できる。小学校では、地域や保護者の協力を得て稲作体験や野菜作りを行っているので、食育と関連させて、さらに学習効果を高めてほしい。</p> <p>食物アレルギーマニュアルを使っての実地訓練やマニュアルの見直し、給食主任会議をとおして円滑な学校給食業務の遂行を図っていることは評価できる。今後は、食物アレルギーのある児童生徒が増えることが予想されるので、状況を見極めて対応していく必要がある。</p>	
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい食習慣や食育に関することは、保護者を交えてその重要性を指導してほしい。 ・成長期にある児童生徒に栄養バランスのとれた食事を提供することは、健 	

	<p>康増進や体位の向上に大変重要であり、保護者にしっかりと考えてもらえるよう工夫をされたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産池消を生かした献立やアレルギー対応など、きめ細かい配慮がされ評価できる。また、給食を食育として活用している点も良い。今後も栄養士、料理人、農家などの協力を得て、食に関する新たな取組を検討してほしい。
--	--

6 安全教育の推進

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の安全を守り育てため、学校・P T A・地域が協力し、地域ぐるみの取り組みを実施します。 ・子どもの安全に関し、意見交換や情報共有を行い、相互理解を深め、よりよい環境づくりに努めます。 	<p>担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>スクールバス、自転車、徒歩と通学形態が様々な状況にあるが、地域やP T Aの協力を得て防犯パトロールを実施していることは評価できる。</p> <p>通学路における危険箇所等の調査を実施し、危険箇所の解消に努めたが、種々の事情により解消には至っていないのが現状である。担当課との協議を進める必要がある。また、通学路の合同点検では、学校職員の参加もあり、通学路の実態を認識してもらう良い機会となった。</p> <p>学校安全計画に基づき、地域の実態に応じた安全指導と安全管理に努め、児童生徒の安全確保のために関係機関が連携していく必要がある。</p>	
学識経験者の 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの安全を図るために、継続的な通学路の整備をお願いしたい。 ・子どもたちが持っている防犯ベルの音を知らない住民が多いと思われるので、広く周知し、協力を求めてほしい。 ・「通学路合同点検の実施」については、季節により状況が変化するので、年に数回実施するように考えてほしい。 ・通学路が危険な状況では、保護者の車での送迎が増え、保護者の負担となり、子どもの体力低下にもつながる。危険な箇所についてはできる限り改善をお願いしたい。 	

7 開かれた学校づくり

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や家庭の学校運営・学校評価への参画機会の増大など、開かれた学校づくりに努めます。 ・学校施設の地域開放に努めるとともに、地域との連携による開かれた学校づくりを推進します。 	<p>担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>児童・保護者・職員・学校関係者の学校評価に基づき、課題と成果を確認して学校運営を改善しようとする経営姿勢は評価できる。また、「学校だより」「学級だより」等による教育活動の情報発信は充実してきているが、ホームページを活用した取組の充実にも取り組んでほしい。</p> <p>地域の人材活用や保護者が参加する学習活動にも取り組んでいるので、学校業務の改善にも目を向け、教育効果を高める工夫をしてほしい。</p> <p>学校施設の地域開放やはにわ祭りなどの町事業との連携も進んでいる。町総合計画に基づいた開かれた学校づくりに期待したい。</p>	
学識経験者の 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校一校になった今、学校関係の情報発信は、今後も継続してほしい。 ・家庭や地域と共に子どもたちを育てていくということであれば、当然、家庭や地域に対して働きかけていくことが重要となる。「学校だより」「学級だより」等の情報発信は向上していると思う。今後は、さらに広報やホームページなどを通じて、より多くの家庭に情報発信していくことを期待する。 ・閉校になった校舎の有効活用を考えてほしい。 	

8 学校施設の整備

<p>取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校や給食センターの空調や施設・設備の保全及び修繕等に努め、学習環境整備を計画的に推進します。 ・新しい時代や社会の変化に対応して、パソコンをはじめ、ICT環境の整備に努めます。 	<p>担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している</p>
<p>委員会の評価 (課題問題点など)</p>	<p>学校施設等の整備については、学校現場の現状と課題を把握し、迅速に対応することができている。</p> <p>今後は、特別支援教育の推進に適した学校施設の整備やトイレの洋式化等を検討していきたい。また、ICT活用の推進と環境整備については、関係部署と連携して、計画的に進めていく必要がある。</p>	
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の改修や整備が図られていることは、大変評価できる。今後とも、残る課題に取り組んでいただきたい。 ・子どもたちに安全な教育環境を提供することは大変重要なことであり、教育環境の改善が適切になされていることは大いに評価できる。学校施設は避難所としての機能を有していることから、今後も計画的に安全で適切な整備を図っていただきたい。 ・環境整備の充実により教育効果の向上が期待できる。現状をしっかりと把握し、整備計画に修正が必要な場合は、適宜見直しをしながら整備を進めてもらいたい。小中学校の外壁や設置されている遊具についても、法令に基づいた点検をお願いしたい。 	

IV スポーツ・レクリエーションの振興

1 スポーツ・レクリエーション活動の推進

<p>取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも町民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、各種教室や大会等の拡充を図ります。 ・気軽に参加できる仕組み作りに努めます。 ・体育協会・スポーツ推進委員や各種スポーツ団体・サークルの育成、支援に努めます。 ・スポーツ少年団を援助し、青少年のスポーツ活動の充実に努めます。 ・スポーツ・レクリエーション種目の多様化に対応した指導員確保や人材バンク制度の検討など、スポーツ指導體制の充実に努めます。 ・子どもから高齢者まで参加できる新しいスポーツの普及・振興やスポーツによる交流を図ります。 	<p>担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している</p>
<p>委員会の評価 (課題問題点など)</p>	<p>若者から高齢者まで、スポーツをとおした健康増進の大切さが求められており、現状では様々な競技団体が活動を行っている。しかしながら、人口減少、少子高齢化によって、競技愛好者が減少しつつある。どのように競技愛好者を増加させるかが、今後の課題となっている。</p> <p>スポーツ少年団においても、各クラブとも新規会員が減少しクラブの運営が厳しくなる傾向である。</p>	
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化がこれからも進むことが予想されるので、根本的な見直しが必要なのではないだろうか。 ・体育協会をはじめとする各団体の支援は、地域、住民への幅広いスポーツレクリエーション活動の活性化につながるため、今後も引き続き指導及び助言を望む。 ・町民体育祭については、参加者が減少傾向にあることや、消防団などの参加者の負担や選手の確保、プログラムなどに課題があるので、円滑に開催で 	

	<p>きるように各種団体の会議等で検討されるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの事業は、少子化によってより難しくなっていくことが予測される。 <p>また、利用者の高齢化も進むことが予測されるので、それらを踏まえた活動や制度の検討をすることが望ましい。しっかりとしたリスクマネジメントが必要である。</p>
--	--

2 スポーツ・レクリエーション施設の整備

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの拠点として総合運動場を位置づけ、町民が利用しやすい施設改修と維持・管理を図ります。 ・身近なところで気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、多目的に利用できるスポーツ広場等の整備や学校施設の活用を図ります。 	<p>担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>施設の利用予約にパソコンを導入して、簡単に予約できるシステムを取り入れ、町民が利用し活用できていることは大いに評価できる。</p> <p>農業者トレーニングセンターの施設整備や公園野球場、スポーツ広場を改修したことで町民が使用しやすくなった。</p> <p>「安全」を基本としながら、老朽化している施設を限られた予算の中で計画的に改修を図る必要がある。</p>	
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・未改修の施設については、予算内においてニーズに沿った形で、計画的に実施していただきたい。 ・施設を利用している団体は、整備できることは自分たちで行うくらいの気持ちをもつことが望ましい。 ・利用者の安全性、利便性の向上に努め、円滑な管理運営に期待する。施設やシステムについて必要な改修が進んでいることは評価する。今後も将来性や必要性を精査しつつ、中長期的なビジョンを検討し、計画的に勧めていただきたい。 ・今後は、施設の改修や新設は難しくなってくることを予想される。町民へのアンケートの実施や関係者で知恵を出し合いながら確実に課題を解決してほしい。 ・個人で利用可能な施設（温水プールやウエイトトレーニングなど）があると利用しやすい。引き続き町民全ての体力の向上を目指してほしい。 	

V 文化と感性を高めるまちづくり

1 個性ある地域文化の創造

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動の指導者、後継者の育成や自主的な文化芸術活動グループの活性化を図ります。 ・町民の文化芸術活動の成果を発表する機会を増やし、交流・研さんの場の充実に努めます。 ・質の高い文化芸術の鑑賞会の提供や、芸術家との交流を通じた環境づくりを推進します。 ・文化センターが多様な文化芸術活動の拠点となるよう、町民参加型の自主事業の導入などを検討します。 ・郷土や埴輪に関する関心と理解を深め、はにわのまちとして文化をテーマとしたまちづくりを推進し、古墳・はにわ博物館の活用と積極的な情報発信に努めます。 	<p>担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している</p>
--------	--	---

委員会の評価 (課題問題点など)	文化センター自主事業として、新春寄席、コンサート、小学校芸術鑑賞教室(演劇)を実施して、住民が質の高い文化芸術に触れる機会を提供できた。また、文化協会芸能発表会やクリスマス音楽会を通して、住民の文化芸術活動の発表の場を支援したことは評価したい。
学識経験者の 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センターが行うバラエティーに富んだ事業は評価できる。今後もジャンルを広げてほしい。 ・見たり聞いたりするだけでなく、町民が一体となって参加できるような町民参加型の事業は高く評価したい。 ・文化事業や町の主催する行事等を多く開催すると共に、多彩なジャンルのイベントを計画し、多くの町民に来てもらえるといい。 ・既存の事業が定着することは良いことだが、新鮮味が薄れていく場合がある。見直すべき点があれば改善しながら、年間を通じて町民が文化に親しむことができるよう、工夫してもらいたい。 ・文化を通じた国内外との交流があってもよい。 ・郷土史などの刊行や郷土史講座の実践なども必要である。 ・文化センターなどの芸術文化施設は、必要な更新や改修を計画的に実施し、安全で快適に使用できるように適正な管理維持をお願いしたい。

2 郷土意識の醸成

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今日まで伝えられてきた祭りや民俗文化、年中行事などの無形の文化資源を見直し、郷土文化の継承と活用を推進します。 ・埴輪と古墳を積極的に活用しながら現代的価値を見だし、個性あるまちづくりと新たな文化の創造につなげます。 	担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	郷土の歴史や伝統を継承することにより、郷土意識の醸成を図ることは非常に重要である。平成29年7月には、町内各地区の歴史研究と文化財保護・活用を目指して「しばやま郷土史研究会」を設立することができた。 郷土意識は、短期間に醸成される性質のものでないため、継続して推進し、郷土の歴史や伝統を守り続けたい。	
学識経験者の 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが低学年から伝統文化に触れる機会を多くし、将来の継承につながるようにすることが必要である。 ・新たな研究会が発足したことは評価したい。 ・町には貴重な文化財が点在している。子どもたちから大人まで幅広く多くの町民に知ってもらうための工夫が必要である。 ・情報化社会が進む一方で、人と人との直接的な関わり合いが減少し、人間関係の希薄化が進んでいる。この問題に対し、子どもたちに芝山の魅力を認識してもらい、芝山に誇りを持ち、自ら町を創っていくという思いにあふれた人材を育成しなければならない。難しい課題であるが、子どもたち一人一人の郷土愛が育まれるよう、芝山の良さを再確認できる事業を希望する。 	

3 歴史文化資産の継承

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開発に伴う埋蔵文化財の調査と保護を図るとともに、指定されている無形民俗文化財の保存・継承に努めます。 ・「博物館友の会」を中心に地域に根ざした歴史文化活動を行っている人材・グループの育成や文化財・歴史ボランティアの養成・確保などを図ります。 	担当課の評価 (社会教育係) △課題がある
--------	--	-----------------------------

<p>委員会の評価 (課題問題点など)</p>	<p>価値観が多様化する人の生活のなかで、文化財や伝統文化は、強い意識を持って保護に努める必要がある。</p> <p>また、「白樹粉屋おどり」「おはやし」等の後継者不足の解消は喫緊の課題である。博物館では、「博物館友の会」や竹炭サークル「かぐや姫」の活動の場を提供し、支援している。</p> <p>今後は、積極的に芝山町の宝である「殿塚」「姫塚」周辺の保護・整備が急務であると考えます。</p>
<p>学識経験者の 意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町の文化財については、町民の関心を喚起し、行政主導による維持管理が必要である。 ・町民全体が芝山町の文化を大事にして守れるように、町民への啓発活動を行ってほしい。特に郷土の伝統文化や音楽、お囃子などがなくならないように、大切に保存してほしい。 ・文化財等については、行政の支援による維持管理が必要であり、今後も保護に向けて継続的な支援をされたい。殿塚・姫塚などは、町の文化遺産であり、適正な管理・整備を図られたい。 ・少子高齢化ということもあり、人材不足が生じるなど、各地区の伝統文化の継承が年々難しくなっている。このままでは消滅してしまうのではないかと危惧している。町民の関心も薄くならないように、町をあげて今あるものを保存・保護する対策が急務である。